

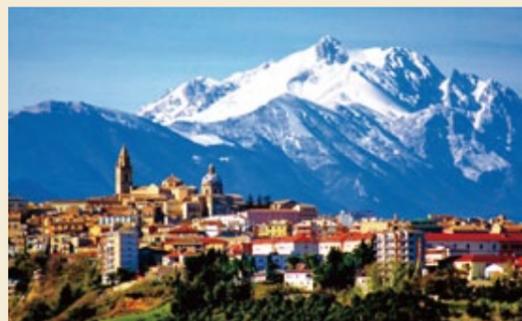


1 調印式で締結書を手にする松本市長とヴィオーラ理事。
 2 南島原市から記念品として原城跡が描かれた版画を贈りました。
 3 キエーティ市からは、風景を描いた絵画が贈られました。
 4 ヴァリニャーノ神父の子孫であるヴァリニャーニさんが挨拶を述べました。
 5 今年3月に派遣された中学生による発表。
 6 7 8 9 祝賀会では、日本の伝統芸能である日本舞踊による「祝舞」の披露や、琴・太鼓の演奏、特産品である島原手延そうめんの「大引き実演」が披露され、祝賀会に花を添えました。



～16世紀のヴァリニャーノ神父との縁が時代を超えて
 南島原市・キエーティ市を固く結ぶ～

前列左から ニリ・パオロ・アウグストさん(京都外国語大学 講師)、ブランコ・フランシ・エディッツトさん(ヴィオーラ理事夫人)、
 ヴィオーラ・アントーニオさん(キエーティ市 理事)、松本市長、ヴァリニャーニ・ヴァレーリアさん(ヴァリニャーノ神父の子孫)



キエーティ市の概要

キエーティ市は、イタリア共和国アブルツォ州にある都市で、キエーティ県の県都となっており、面積は58.55km²(南島原市の34%)、人口は約51,000人。

また、キエーティ県の北部に位置し、首都ローマから東北東へ約150kmの距離にあり、標高約330m、ペスカーラ川の下流右岸に位置しています。山腹にある山手の旧市街地には、歴史的な発展を現す建物や遺跡が残り、新市街地は谷間に急速に発達した商工業地区となっています。



松本市長は、「ヴァリニャーノ神父とのご縁を大切に、今日の日を新たな出発点として、これまでの交流の中で築かれた信頼関係のもと、様々な分野で友好の絆を深め、両市にとって実りあるものにしていきたい」と式辞を述べました。

キエーティ市のウムベルト・ディ・プリーミオ市長の代理として出席しヴィオーラ・アントーニオ理事は、「両市民はお互いの国の文化に興味を持ち、経済的にも交流を深めることができれば幸いです。そして、両市の架け橋となったヴァリニャーノ神父と同じような心をもって道を進みたい。」と、キエーティ市長のメッセージを読みあげました。



これからの交流

両市民が、文化・スポーツ・経済という分野において、直接異文化に触れあう機会を与えるなど、人材育成に力を注ぎながら経済的交流に繋げ、両市の友好関係を促進していきます。

特集

イタリア共和国・キエーティ市と 友好都市提携調印



桜の植樹



キエーティ市長表敬訪問



宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノの銅像

これまでこの経緯
 ヴァリニャーノ神父とのご縁により、歴史的つながりのある両市ですが、本市で平成24年に開催した「口之津開港450年記念事業」の折、キエーティ市にあるカリキエーティ財団からヴァリニャーノ神父の銅像を寄贈していただき、口之津緑地公園内に設置しました。
 これを契機に、市内の中学生4人を平成24年少年使節として、キエーティ市に毎年派遣し交流を図っています。キエーティ市では、市長への表敬訪問を行い、ホームステイや学校訪問などを行っています。
 平成27年1月の訪問では、南島原市とキエーティ市の子どもたちが、桜の苗木10本を一緒に植樹しました。その頃から友好都市についての話が進み、これまでの交流から友好都市提携を結ぶ時期にきているとの判断から、両市の間で協議を行い、友好都市提携の運びとなりました。

宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノの出身地
 11月8日、南島原市は、これまで交流を深めてきたイタリア共和国キエーティ市との友好都市提携調印式を、キエーティ市から関係者を迎えて深江町のザ・マキーズで執り行いました。
 キエーティ市は、約440年前に有馬にセミナリヨを設置した、イエズス会の宣教師アレックスサンドロ・ヴァリニャーノの出身地で、ヨーロッパに天正遣欧少年使節としてセミナリヨで学んだ4人の少年を派遣し、日本と日本人の存在を強く知らしめたのも同神父でした。

